



大規模土砂災害に備えた合同防災訓練を実施しました。

5月14日、飯豊山系砂防事務所管内での大規模な土砂災害を想定した合同防災訓練を小国町のおぐに開発総合センターで実施しました。当訓練は、WEB方式も活用し、国・県・市町村の関係機関の計6機関約40人が参加し、災害時の各機関の対応について情報共有や連携の確認を行いました。

仁科小国町長の全体講評では、「出水期前に、国・県・市町村の機関が、荒川流域全体で訓練を実施したことは、大変有意義な訓練であった」、「令和4年8月3日からの大雨では砂防施設の施設効果を非常に感じた。今後も砂防事業に期待したい」等の講評をいただきました。

出水期を迎えるにあたり、今回の合同防災訓練における成果や課題を踏まえ、災害から地域の安全、安心を守るために、災害に備えた体制を整備してまいります。

訓練の様子



開会挨拶
飯豊山系砂防事務所 渡邊所長



全体講評 山形県小国町 仁科町長



コメンテーター
元国土交通省 砂防部長 亀江氏